

市政概要説明会を

開催しました

6月22日(火)から26日(土)までの5日間、幸手市の現在の市政概要について市民のみなさんにご報告し、ご理解をいただくため、市内5会場で説明会を開催しました。

問合せ 秘書室 ☎(43) 1111 内線223・FAX(43) 7088

市政概要説明会

▼平成22年度主要事業

財政健全化の推進に引き続き努めるとともに、第5次総合振興計画に基づき、中長期的視野をもつて将来の幸手市発展につながる事業を実施することなどを目指し、限られた財源を重点的かつ効率的に配分しました。

総務費関係／幸手駅のバリアフリー化施設整備事業
(東武鉄道線が実施)に対する補助、土地開発公社所有地購入事業

民生費関係／子ども医療費支給事業(これまで小学校就学前まで支給していた通院分について、支給対

象を小学校修了年度までに拡大します。※入院分については、昨年度、中学校修了年度までに拡大。子ども手当支給事業、3人乗り自転車レンタル事業

衛生費関係／ごみ減量化・リサイクル推進事業、各種検診事業

農林水産業費／水路クリーン事業(緊急雇用創出事業)

商工費関係／商店街街路灯設置事業

土木費関係／幸手インターチェンジ周辺整備事業(県条例環境影響評価、市街化区域編入資料作成など)

消防費／消防車両整備事業
(消防団第2分団)

教育費関係／小中学校屋内運動場耐震補強工事(行幸小・長倉小・東中・西中)、小中学校扇風機整備事業

▼幸手駅西口土地画整理事業について
駅西口土地画整理事業

は、話が立ち上がってから既に30年近い年数が経っています。駅に近いということとで今なお住宅が建設され、時間が経過すればするほど事業を進めるにあたって困難な問題が生じてきており、1年でも早く事業に着手しなければならぬと考えています。

幸い、地元の街づくり推進委員会の全面協力もいただいていますので、今年度中には事業認可を取得すべく、その準備事務を鋭意進めています。

▼東埼玉総合病院の移転受入について

昨年12月下旬に東埼玉総合病院の移転話がでてから、市民のみなさんには署名活動などを通していろいろご支援をいただきました。

また、3月議会最終日には市議会において東埼玉総合病院の幸手市移転決議が

全員賛成のうちに可決され、これまで、幸手市議会や幸手市医師会などの調整や協議を進めてきました。

これにより、旧栄中学校跡地への移転ということで、大筋で合意に至ることとなり、5月27日には移転に関する基本的事項を定めた協定書を病院側と取り交わしました。

その後の協議において、旧栄中学校跡地を不動産鑑定による価格で賃貸借することや、校舎は無償で譲渡し、不必要な部分は病院側で解体すること、病院への進入路の拡幅整備などについて、概ね協議が整い、東埼玉総合病院の幸手市への移転については、多くの市民のみなさんが望む方向で、実現することとなりました。

今後は、開院にむけてさらに詳細な協議を病院側と重ねていく予定です。



主な質問と回答 ※（ ）内は回答者。

東埼玉総合病院移転受入

Q 病院が移転してくると同時に、旧栄中学校跡地周辺の道路が拡幅されると聞いたが、いつごろどのように拡幅されるのか？

A (総務部長) 平成24年度早期の病院開院予定に併せて、旧栄中学校跡地東側の道路を拡幅する予定です。

また、旧栄中学校跡地の一部は保育所用地として確保しており、そこに旧栄中学校跡地東側道路と幸手団地外周道路を結ぶ道路を造る予定です。

Q 病院の移転に際し、市の負担はあるのか？

A (総務部長) まず旧栄中学校跡地は不動産鑑定に基づき、年間2千500万円程度で貸し付けることとします。また、校舎は無償譲渡しますが、耐震化されている一部分を除き、そのまま使うことはできませんので病院側で解体します。

(3) 旧栄中学校跡地東側道路については、市民の利便性

を高めるためのものですので市で整備しますが、拡幅整備に7、8千万円程度かかる予定です。

幸手駅西口

土地区画整理事業

Q 街路事業のほうが安くてもいいのではという人もいるがどうなのか？

A (建設経済部長) 仮に街路事業で実施した場合、後から公園や道路周辺整備、下水道整備なども必要で、結果的に一括して実施する区画整理事業よりも経費がかかってしまいます。

また、県道幸手久喜線については、区画整理事業で道路南側の用地を確保すれば、道路北側については県の事業で実施するという県との協議も整っていますので、区画整理事業を進め、住みやすい環境づくりをしていきます。

その他

Q 東武鉄道線が実施する幸手駅のバリアフリー

化改修事業に市が補助をするとのことであるが、いつごろどのような改修をするのか？

A (市民生活部長) 幸手駅の上り・下りホームに車イス対応のエレベーターを各1機ずつ設置し、また駅舎内に障がい者用のトイレを設置するもので、工事はおおよそ9月中旬以降から3月中旬頃に行われます。この改修は東武鉄道線が実施しますが、県と市でこの事業に対して補助をします。

Q 自主防災組織について自治会などで説明会を開催する場合、夜間や日曜日などでも市から説明にきてもらえるのか？

また、自主防災組織を結成した場合、補助金などはどのような場合、補助金などはあるのか？

A (市民生活部長) 地域のみなさんが自主防災組織を設立したい、また自主防災組織がどんなものか知りたいという場合は、夜間や日曜日でも市職員の派遣をさせていただきます。

また、自主防災組織を設立する、備品の調達をする、防災訓練を実施するといった

場合には、補助金を用意しているののでぜひ活用ください。ご近所、自治会、区単位での自主防災組織活動は、災害時の人命救助に大変役に立つものですので、今後自主防災組織率の向上に努めていきます。

Q 現在無料で乗車できる市内循環バスについて、近隣では有料化が進んでいるようだが、幸手市は今後どうするのか？

A (市民生活部長) 昨年8月、2千人程度を無作為に抽出したアンケート調査をさせていただき、その結果、約6割の方から有料にしたかどうかとの回答がありました。

現在、公共交通会議を立ち上げ、いろいろご意見をいただきながら、今年度末までには決定できるように進めているところです。

Q 新4号国道の4車線化工事で、今後手押し信号が撤去されるようなことになる、地域住民はかなり大きな迂回を強いられるなど大変不便になることが予想されるが、将来的にはどのようなになるのか？

A (建設経済部長) 国土交通省から、今後どうなるかという具体的な話はまだきていません。幸手地内の工事は、平成23・24年で実施すると聞いていますが、現在、警察など関係機関と協議中とのこと。

市としては、地元の見解を聴きながら工事を進めてほしいと考えており、国土交通省に、計画決定前に地元への説明をしていただきたいとの申し入れをしています。

